

様式 1

令和 4 年度学長戦略経費（研究プロジェクト）実績報告書（研究実績）

1 研究課題名

国語教育における ICT、主にデジタル教科書を活用した効果的な授業モデルの構築

2 研究代表者

旭川校・教授・大橋賢一

3 研究分担者・研究協力者

北海道教育大学旭川校 渥美伸彦准教授
長谷川範彰准教授
西内沙恵講師
附属旭川小学校 田中里彩教諭
附属旭川中学校 嶋田善行教諭
永井悦美教諭
片平大知（非常勤教諭・教職大学院 1 年）

4 令和 4 年度研究計画の達成度

- a 計画とおり達成した
 b 概ね達成した
 c あまり達成できなかった
 d 全く達成できなかった

【c 又は d を選択した場合の理由や問題点】

5 学術的成果

【論文投稿】

- 渥美伸彦・田中里彩（2023）「筆者に着目させ、批判的読みに誘う説明的文章指導の検討—小学校低学年児童に生じる批判的読みの様相—」『旭川国

文』、横 15-23 頁、2023 年、35 号、査読なし

- 大橋賢一（2023）「大町桂月「李白」について」『旭川国文』、縦 12-19 頁、2023 年、35 号、査読なし

【書籍出版】

【学会発表】

- 旭川国語国文学会 228 月例会、2022 年 7 月 15 日（金）、Zoom、西内沙恵「心理実験による多義性と同音異義の判別—現代日本語の形容詞を事例に—」
- 旭川国語国文学会 232 月例会、2023 年 3 月 17 日（金）、Zoom、長谷川範彰「『中学校国語教科書における『新古今和歌集』』 予定

【その他】

6 実践的成果

【教材】

「類義語・反対語・多義語・同音語」（中学校 2 年生）のロイロノートのひな形 {<https://jamboard.google.com/d/1YN40Eb2Qkftsn8sGeBL2mGq5iFUfklH6hP6iQx7ezGI/viewer?f=0>}

【評価方法】

ない

【指導（授業）案】

国語科教育学演習Ⅱ（授業担当：渥美）における学生が作成した学習指導案等（12 回分） {https://drive.google.com/drive/folders/1o6wjpM_g6p-mjTTuPbRecGOi4TiufsIR?usp=share_link}

【教育方法】

- 国語科教育学演習Ⅱ（授業担当：渥美）における授業研究（デジタル教科書と 1 人 1 台端末、クラウド型学習端末を用いた模擬授業と研究協議）の実施（12 回）
- 国語科教育第 1 ゼミナール（渥美ゼミ）における理論研究（デジタル教科書に関する先行研究や実践の考察）及び授業研究（デジタル教科書と 1 人 1 台端末、クラウド型学習端末を用いた模擬授業と研究協議）

【その他】

7 その他、研究実施状況

2023年3月13日(月)、附属旭川中学校第二学年三クラスで片平大知教諭が単元「類義語・反対語・多義語・同音語」の授業について、ICTを利用した授業・ハイブリッドの授業・アナログの授業の三種を行い、それぞれの利点などを検討し、あわせて今後のデジタル教科書の利用方法について検討した。この授業研究については、来年度、旭川国語国文学会月例会などで発表し、論文にまとめて投稿する予定でいる。